

# ペットボトルで浮体式風車模型

## 再生エネへの理解深める 五島



ペットボトルで作った風車を水槽に浮かべる児童ら  
五島市吉久木町、五島市消防本部

### ワークショップに児童30人

再生可能エネルギーを学ぶ「海を活かす技術のワークショップ」が24日、五島市内であり、小学生がペットボトルを使った浮体式洋上風力発電機の模型を作った。

NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会が日本財団の助成を受けて開催。市内の小学2～6年生の約30人が参加した。児童たちはペットボトルで風車をかたどり、風で回転するとライトがつく装置を製作。ボトルにパ象にした同様のワークショップもチンコ玉を詰め、どうすれば水槽

でバランスを保って浮かぶのか試行錯誤していた。

同市沖では、国内で初めて浮体式洋上風力発電が実用化され、さらに数を増やすウインドファーム化計画が進行中。講師の一人で日本風力エネルギー学会の上田悦紀理事(57)は「世界的に珍しい。観光資源としてもどんどんPRしていったらいいと思う」と話した。

23日は小中学校の理科教諭を対象にした同様のワークショップもあつた。

(石田慶介)

県北 対馬・岐・五島 佐世保近郊



してポンプで各家庭へ供給する。約3年かけて完成させる予定。波板(4尺×12尺)設置

### 北松農高とMRコラボツアー

## クッキー作りや動物体験



県立北松農業高(田上和利校長)と松浦鉄道MRがコラボした体験ツアー「北松農高スクールツリーズム」が20日あつた。県内の親子連れ約30

生徒(右から3人)作る参加者

### 気分は「ブラック・ジャック」

## 新上五島 児童が手術に挑戦



児童が外科医の仕事体験する「ブラック・ジャック」五島